

先週の問題

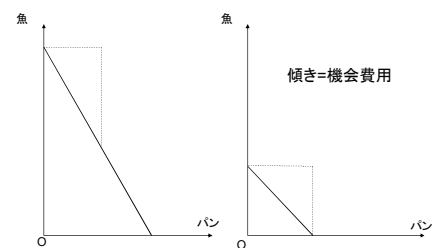
- 北海道の屯田兵と同様に、発展途上国では、自給自足の村が多数あります。途上国で分業が進んでいないのはなぜだと思いますか。説明してみましょう。

解答例

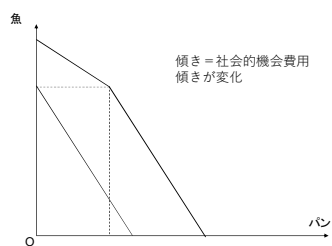
- 分業するためには、特化した仕事の成果を、他の財と交換できなければならない。市場がなかったり、規模が小さいと、分業が進まない。分業が進まないと、効率的な資源配分ができないため、生産が拡大せず、所得も増えない。そのため、経済発展が遅れる。

1.4 生産可能曲線による分析

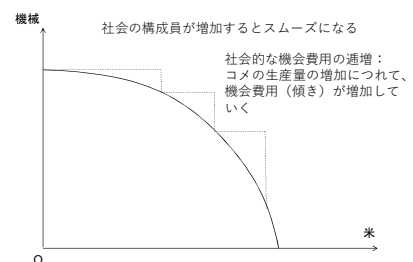
個人の生産可能曲線



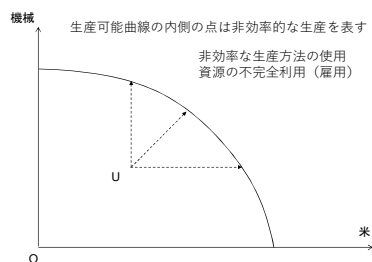
社会的生産可能曲線



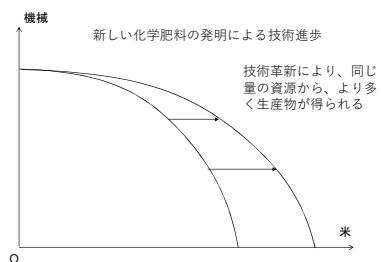
社会的生産可能曲線



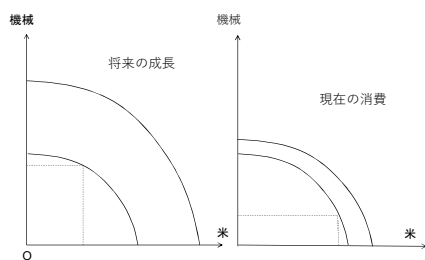
不完全雇用



技術革新



成長と消費



第2章 市場機構と需要・供給

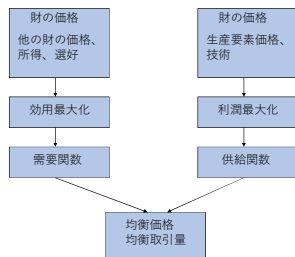
はじめに
比較静学
均衡の安定性
価格弾力性

2.1 はじめに

与件

- 部分均衡分析
 - 他の事情を一定として、特定の財の価格、需要量、供給量を分析する
- 与件
 - 一定とされる他の事情、要因
 - 他の財の価格
 - 消費者の所得や嗜好
 - 企業の生産技術や雇用量

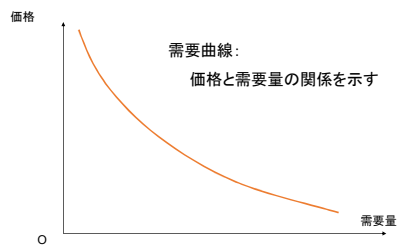
部分均衡モデル



需要と需要量

- 需要 (Demand) :
 - 需要曲線のこと
 - 価格と需要量の「関係」のこと
- 需要量 (Quantity demanded) :
 - 需要曲線上の1点に対応
 - 財がある価格のときに需要される量
 - 価格 → 需要量

需要曲線



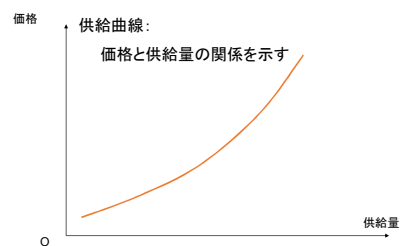
需要曲線の特徴

- 需要曲線は右下がり(左上がり)
 - 価格が上がると需要量は減る
 - 価格が下がると需要量は増える
- どうして右下がりなの?
 - 安いと需要量が多いのはなぜ?
 - 高いと需要量が少ないのはなぜ?

供給と供給量

- 供給 (Supply) :
 - 供給曲線のこと
 - 価格と供給量の「関係」のこと
- 供給量 (Quantity Supplied) :
 - 供給曲線上の点に対応
 - 財がある価格のときに供給される量
 - 価格 → 供給量

供給曲線



供給曲線の特徴

- 供給は右上がり（左下がり）
 - 価格が上がると供給量は増える
 - 価格が下がると供給量は減る
- どうして右上がりなの？
 - 高いと供給量が多いのはなぜ？
 - 安いと供給量が少ないのはなぜ？

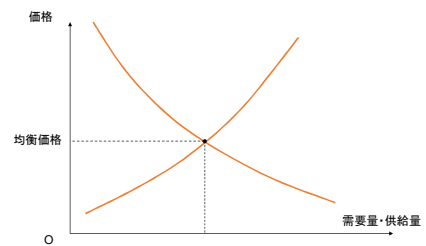
供給に関する注意

- 売れば売れるほどよいわけではない
 - 財を販売するためには、それを生産しなければ
 - 売れ行きがよい → 生産量も増加
 - 生産量の増加 → 生産費用の増加
 - 売ればよいというわけではない

市場均衡

- 市場均衡(Market Equilibrium) :
 - 需要量と供給量が等しくなっている
 - その価格で買いたい人はみんな買える
 - その価格で供給したい人は売れ残りなく売れる
 - 需要曲線と供給曲線の交点
- 均衡価格(Equilibrium Price) :
 - 市場均衡になるような価格

均衡



今日の問題